

私らしさと、家族のあり方

妻・母・わたしと「起業」

むらき ようこ
村木 陽子

■すてっぷの起業セミナーから開業へ

新卒で化粧品メーカーに勤務していた頃から、接客したお客様が綺麗になった自分を見て瞳をキラキラさせる様子が大好きでした。

大好きな仕事を続けながら結婚し子どもができ家族が増えていく中、仕事を頑張れば頑張るだけ「家族との時間のバランス」が崩れていく・そんな感覚を持つようになりました。

夫とも相談し、「自分は接客が好きなのだから、他の職種でも接客ならばきっと大丈夫。」と私が家族と時間を合わせるために他業種に転職しました。新しい職場は時給も福利厚生も良かったのですが、新入社員の私は給料も前職よりかなり少なくなりました。でもそれは妻として、母として家族との時間を作るには仕方ない事だと諦めていました。

転職後、「私らしさ」が失われていくような気がしていた頃、出会ったのがネイルの世界でした。そして働きながらネイルの学校に通い資格を取得した頃にすてっぷの「女性の起業連続セミナー」を受講しました。家族も私の生き生きとした姿を見て応援してくれ、起業セミナーの友人の力も借りて、受講終了と時期を合わせて、子連れでも施術が受けられる「自宅サロン」を開業しました。

■仕事と「私らしさ」

サロンに来られるお客様は若い方も年配の方も、皆さんとても楽しみに来られます。仕上がった自分の手をキラキラした目で嬉しそうに見ながら帰られます。子連れ OK なサロンで子どもへ関わりも増えました。地域のお祭りに参加し、キッズネイルでは大人ではなく子ども自身にデザインを選んでもらうようにしています。ほんの1コマではありませんがその子の成功体験・自己肯定感に繋がってくれたらと思うのです。「自分で決めた」ネイルを「かわいいね」「キレイだね」と褒められた子どもは何とも言えない表情で恥ずかしそうに、嬉しそうに、そして瞳もキラキラ輝きます。私はこうしたキラキラした時間に関わっている瞬間に「私らしさ」を取り戻していることに気がついたのです。

profile

すてっぷ主催「女性の起業連続セミナー（2016）」第1期生。ネイルサロン「Precious」代表。家族構成は、夫と、長女、次女長男。55歳、豊中市在住。



■起業と家族の時間軸

起業することはもちろん家族とも話して開業しましたが実際に「自宅サロン」を始めるとうまくいかないこともたくさん出てきました。繁忙期には夫や子どもが帰宅した時に夕食もできておらず、外食が続く家族に不満を言われてしまうこともありました。夫も子どもたちも決して100%喜んで協力してくれている訳ではありません。何らかの我慢を私の為にしてしてくれているのです。そんな手探りの中、今 Precious は3年半になります。2人の娘は時間がある時にはイベントスタッフとして手伝ってくれ、今年の夏祭りの出店では夫もお祭りスタッフに加わってくれました。同じ時間を過ごすことで私の「仕事」や「私らしさ」を理解してくれています。家族みんなの頑張りで今 Precious は存在しています。

■「起業」は自分で決められる

多くの女性は家族のために、自分の立場を変えて働きます。正社員からパートへ、派遣へ、そして専業主婦へ。そしてそれは「家族で」という枠を取り払ったとき、自立できない経済弱者への第一歩でもあります。

起業は全部を自分で決めることができます。事業を小さくすることも大きくすることも。休む時期も選べ定年もありません。お客様からお金を頂くことは大変なことですし、案をして儲かるようなことはありませんが、自分の力や考えでどんな形にでも作るすることができます。起業は全てを自分で選択できるのです。私は52才でやりたいことを始めました。「私らしく」考えながら悩みながら笑いながら、時には泣きながら、そして時間を共にできる人を大切に、諦めることなく生涯現役で自分史を作っていきます。

ネイルサロン Precious

【HP】 <http://bcprecious.com>

① bc_precious

② @bet0288s

【hotpepper beauty】

<http://b.hp.jp/kr/sd/>

H000426920/



親子でネイルOK